



長崎県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623



「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」

～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～



代表理事
松尾 慶一

謹賀新年

会員の皆さまに於かれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。お陰を持ちまして、長崎同友会では着実に成長発展しております。

各支部の例会を中心とする活動も活発に開催されていますし、県の各委員会をみても合同入社式・経営指針実践セミナー開催・新入社員フォローアップ研修開催（毎日ワクワクして働くにはビジョンを描こう）・愛媛同友会視察「6年生のキャリア教育・なりたい自分になるために」・景況調査の実施と報告会・特別支援学校との連携・各大学との連携・留学生支援機関との連携・知的障がい者就労支援セミナーや各金融機関との連携など新しい試みを打ち出されてチャレンジしていただいております。

また、本DOYUニュース21においては、今月号より新たに「各界からの提言」コーナー

が設けられました。

その成果は会員の増加で示されており、今期4月から純増70名余り現在670名の会員数が物語っています。8支部がすべて純増されました。そのとき生まれたのが11月14日の長崎同友会設立記念日を「長崎同友会の日」と定め、毎年みんなで楽しく仲間を増やそうと決意したのです。

この様に素晴らしい同友会活動を、もっと周りの経営者に知っていただくために同友会のポスターを金融機関等に掲示していただいています。周りの人々も巻き込んで活動から運動へと展開しなければならないと思っています。

思い起こせば10年前に代表理事を拝命し、皆さまのご理解とご協力に支えられて努めて参りましたが、今期を持ちましてその任を終えることとなり万感の思いで有ります。どうか、本年が実りのある年になります様、会員皆様のご益々のご発展、そしてそこから地域の発展へのご尽力されますことを祈念申し上げ、新春のご挨拶と致します。

目次

代表理事新年挨拶	1	佐世保支部 第4回 ビジカルランチ 開催報告	12
各界からの提言	2	事務局企業訪問	13
12月例会報告	3	入会・交代・復会会員紹介	14
2017年度 共同求人・社員教育活動全国交流会 in 島根 参加報告	9	会員活躍	19
全国事務局長会議 参加報告	10	理事会議事録 抜粋	20
ダイバーシティ委員会 11月勉強会 開催報告	10	会員動向・会員数	21
長崎純心大学キャリアフェスタ 参加報告	11	2月例会案内	22

各界からの提言

長崎県知事 中村 法道



履歴事項

昭和 25 年 11 月 29 日生

- | | | | | |
|--------------|---------------------------------|--------------|---|---------|
| ・昭和 48 年 3 月 | 長崎大学経済学部卒業 | ・平成 13 年 4 月 | 同 | 総務部秘書課長 |
| ・昭和 48 年 4 月 | 長崎県採用 | ・平成 14 年 4 月 | 同 | 対馬支庁長 |
| ・平成 8 年 3 月 | 同 企画部国際課長 | ・平成 16 年 4 月 | 同 | 農林部長 |
| ・平成 9 年 4 月 | 同 福祉保健部県立病院課長 | ・平成 19 年 4 月 | 同 | 総務部長 |
| ・平成 11 年 4 月 | 同 企画部企画調整課日蘭
交流 400 周年事業推進室長 | ・平成 21 年 4 月 | 同 | 副知事 |
| | | ・平成 22 年 4 月 | 同 | 知事 |

新年おめでとうございます。皆様には健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本県の産業労働行政に対しましてご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

長崎県中小企業家同友会におかれましては、1972年の設立以来、様々な業種の中小企業経営者が学びあう自主的な組織として、本県の中小企業の振興や地域経済の発展に多大な貢献をいただいておりますことに、心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

さて、本県では人手不足が常態化する中、人口減少・高齢化が進行するとともに、若年層を中心とした大都市への転出超過が続いており、人口流出に歯止めをかけることが喫緊の課題となっております。この課題解決に向けては、地域雇用の9割を支える地場中小企業の皆様に活力ある事業活動を展開していただき、魅力ある雇用の場を一つでも多く創っていただくことが大変重要であると考えております。

このため、本県では、2015年4月に

「中小企業・小規模企業振興条例」を制定し、特に、県内企業の86%を占める小規模企業の持続的な発展について重要施策の一つとして明記し、支援施策のさらなる充実に取り組んでおります。

商工団体との連携強化を図りながら、中小企業診断士の活用による経営革新や経営力向上支援などに取り組むとともに、地域の経済特性を踏まえた上で、地域ごとに注力する分野を定め、支援目標を設定し、よりきめ細かい経営支援を行うなど、小規模企業等の経営改善を図ってまいります。

皆様方におかれましても、中小企業家同友会の活動を通して得られた知見や経営姿勢などを自社の経営に活かしながら、事業拡大や付加価値の向上などに積極的に取り組んでいただきたいと考えております。

県としましても、引き続き、県内中小企業・小規模企業の振興に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

長崎浦上・出島支部 合同例会報告

日 時	12月4日(月) 18:00～21:30
会 場	ホテルニュー長崎 桃林
テ ー マ	長崎浦上・出島支部合同忘年例会



今年の忘年例会は、長崎出島支部の担当で行われました。2支部で結成された実行委員の団結で、3回にわたり打合せを重ねた結果、仮装をして出席者の皆さんをお出迎えすることになりました。実行委員と吉澤・中村両支部長、今年経営フォーラム実行委員長として大活躍の岩さん、その他有志で、漫画・童話・映画・ゲームのキャラクターから、原始人などいろいろな仮装をして会場を沸かせました。

また、今回の会場がホテルニュー長崎の桃林でしたので、あわびやフカヒレといった豪華な食材があり、とてもおいしく、お酒もすすみました。

そして余興では去年に引き続き、大抽選会が行われました。2支部の会員の皆様に商品の提供をしていただき、こちらも豪華な抽選会となりました。ギフト券、お食事券のほか、焼酎などの実商品も多数ありました。抽選の時に、提供した方が直接商品を手渡しする場面もあり、交流を深められて良かったように思います。



今回の忘年例会には、2支部とも新入会予定のゲストが出席されました。楽しい会の雰囲気を感じていただけではないかと思っております。

今年は、経営フォーラムも大成功でしたので、充実した1年の慰労会として楽しんでもらえたかなと、実行委員のみんなもやりきった感がみなぎった例会でした。

自分の反省として、仮装がちょっと分かりにくいものでしたので、もっと目立つものにすれば良かったという所と、打合せにあまり行けず、他の方に頼っていた所でした。次回に生かしたいと思います。

(文責 長崎浦上支部 西本 俊昭)



10月中頃から両支部で実行委員会を結成し、ミーティングを重ね進めてきた。



今回は今までにない忘年例会をという事で【仮装】をテーマに行う事とした。行うに当たり両支部長から協力的な言葉をいただき実行委員会一同、俄然盛り上がった。

当日は庄司さんのスローガン唱和(仮装で)から始まり波平さんとサザエさんに扮した両支部長による今年の振り返り挨拶で一気に会場の雰囲気

も盛り上がる。実行委員会のメンバーと若手の会員を中心に仮装した会員たちに溢れ、ベテラン会員の皆

様も顔にシールを貼って仮装に協力していただいた。恒例の会員から協賛をいただき行った「大抽選会」も、長崎出島支部加瀬さん・天田さんの軽妙な司会で大変盛り上がり、大崎副支部長の挨拶で会場を中締めとした。

開催して思う事は、仮装に関して賛否両論あるでしょ

うが例えば例会と忘年会を分けて開催する等、工夫と議論を重ね今後には是非繋がっていただけたらと感じた。

この度仮装にご協力いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

(文責 合同忘年例会実行委員長 萩田 実)

大村支部 例会報告

日 時	12月21日(木) 18:30～21:15
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	自分にとっての同友会とは ～7年間の挫折と後悔～
報 告 者	(株)新生電気 専務取締役 浦郷 学 会員



今回は同友会を通して人と出会い、人脈の大切さを感じ、現在に至る成長をした浦郷さんの報告です。

浦郷さんが新生電気に入社するまでの経歴、同友会の大切さを感情そのままにお話しいただき、聞き入ってしまいました。

同友会に入会しているものの7年間も休会していました。その時の浦郷さんは人前で自分の会社の事を話したくない、恥ずかしいなどの思うことがありました。退会の決意をして、当時経営フォーラム準備委員長の太塚真一さんに相談したところ、逆に経営フォーラムの副実行委員長に任命されます。そして今まで自分が井の中の蛙だった事に気づき、経営フォーラムを通して仲間が増え、昔の自分と考え方も変わり、経営フォーラムの成功がゴールではなくこれからがスタートと気がきました。

会社では、社長に対して意見の食い違いなどありましたが、今は社長の気持ちも理解できるようになりました。現在、大村支部情報広報委員長をしており、今



後県でも活躍されるであろう浦郷さん。

浦郷さんの姿をみて自分もまだまだ勉強しなくてはと思いました。

今回の例会でますます同友会の良さや人脈、仲間の大切さを学んだ報告でした。浦郷さんありがとうございました。

(文責 藤本 力)



諫早支部 例会報告

日 時	12月22日(金) 18:30～21:00
会 場	四季の蔵 食楽亭
テ ー マ	諫早支部の今年を振り返って ～各委員会活動等良かった・悪かった～
報 告 者	地域と共に歩む中小企業とジェーシー (J・C) 諫早青年会議所第53代理事長 嶋田 雅之 氏



嶋田さんは諫早支部、嶋田雅弘さんの御子息でもあり、初めはかなり緊張した様子でしたが、J・Cでの活動内容や理事長としての熱い思いを報告いただきました。

地元諫早を若い力・地元企業で盛り上げたい・地元企業をもっと知ってほしい・学生への地元企業への就職のすすめなど、熱い思いを感じました。

同友会活動とも重なる部分が多く、若い世代の思いを聞き自分の未熟さを感じました。

報告後は、「諫早支部の今年を振り返って」～各委員会活動等良かった・悪かった～の内容で発表が有り、お酒も入り沢山の意見をいただきました。

来年は今年以上に団結し盛り上げて頑張ろうと思



を一つにして閉会しました。

(文責 山崎 三郎)

島原支部 例会報告

日 時	12月19日(火) 19:00～21:30
会 場	HOTELシーサイド島原
内 容	大忘年会



昨年、島原支部初の試みだった大忘年会でしたが、多くの会員からみんなが楽しめる良い忘年会だったとの言葉をいただきましたので本年も新しい催し物を取り入れ、1年を締めくくる忘年例会を開催しました。

横田支部長挨拶、各委員会報告後すぐに乾杯といつもと違う流れのなか始まりました。



最初のイベントは、本年、長崎県美容組合コンテストのストリートカット部門で見事優勝した北尾新さんによるビフォーアフター。

モデルには女性会員の中心となって活躍しております永吉杏奈さんをお願いしました。

引き続き行われたビンゴ大会では、会員各社より協賛商品のご協力をいただき自社の宣伝に繋がったのではないのでしょうか。

豪華賞品には、ブルーレイレコーダー、2万円分商品券、32型TV等があり片山さんの司会進行で大盛り上がりとなりました。

その後は、忘年例会担当のC班が勝手に選出した対象者への表彰を副支部長の荒木さんにしていただ



きました。

会員の皆様がテーブルを移動しながら酒を酌み交わし、語り合い、あっという間に時間が過ぎ去ってしまいました。

締め言葉の言葉を三田相談役から頂戴し、終始笑顔あり笑いありの中、島原支部の忘年例会を大盛会のうち終了することができました。

年末の忙しいなか、なかなか時間を割くのが厳しいですが集まっていたいただいたことに感謝です。

会員同士更に交流を深め、ともに学び合うこと、ともに支え合うことは、会員の数があってこそいろいろな経験や情報交換の幅が広がっていくと思います。2017年も終わり、新たな年になります。2018年も会員の増強を図り、同友会での学びを島原半島に拡げていきたいと思っています。

(文責 本村 博征)

佐世保支部 例会報告

日 時	12月19日(火) 18:30～21:00
会 場	セントラルホテル佐世保
テ ー マ	難病が教えてくれた、人生観 ～経営者は現状から逃げるな～
報 告 者	長崎県難病連絡協議会 県北支部 支部長 上田 崇仁 氏



“難病”と聞いてみなさんはどのような印象をお持ちでしょうか。

難病と一口に言っても、医療助成対象のものだけで330もの疾病があります。症状も人によって様々で、進行性の疾病も多数あります。

今回は、ご自身が難病になり、難病支援協議会県北支部を立ち上げに至った経緯、そして経営者でもある上田さんが大切にしていることをお話ししていただきました。

上田さんは、ある日突然、難病のひとつの後縦靭帯骨化症(こうじゅうじんたいこっかしょう)を発症しました。これまで大きな病気などせず、柔道もしていた自分が、まさか難病になるとは思っていなかったそうです。

懸命にリハビリを続けながら、難病患者さんやそのご家族との交流を重ねていきました。

当時長崎県には、長崎市に難病の方を支援する組織があるのですが、県北にはありませんでした。県北の難病患者さんは、相談したくても、遠方のため行けないケースが多くあります。それを知った上田さんは、県に相談に行き、関係機関との調整などを経て、2017年4月に難病支援協議会県北支部を立ち上げることになりました。

県北、離島の難病患者さんのためにという一心で、ここまで奮闘されてきました。今後は組織の運営がスムーズにいくよう、支援の輪を広げていく活動(賛助

会員の募集)をしていくそうです。

後半は、経営者視点でのお話もしていただきました。病気になったことで会社経営が困難になり、会社を閉じる際のエピソードには胸が詰まりました。通常郵送で済むところを、直接取引先に謝罪にいった上田さん。会ってくれなかったり、激怒されたりしながら、「この時、直接謝罪に行ってよかった。もしそうしていなければ今の自分は無い」と言います。

経営者は悪い時にも、現状から逃げてはいけな

いう事も教えていただきました。くしくも今年度のフォーラムのテーマは“覚悟”。経営は思いどおりにはいかないことがあります、いかなる時でも“覚悟”をもって日々精進していきたいものです。

1年の締めくくりに、襟を正してくれるような素晴らしい報告でした。

(文責 山崎 秀平)

北松浦支部 例会報告

日 時	12月13日(水) 18:30~20:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	忘年例会



津崎副支部長の乾杯の音頭をかわきりに宴は始まりました。普段は例会に参加しない家族の皆様も参加して非常に盛況でした。特に、今年は各会員が賞品を持ち寄り開催された「ビンゴゲーム大会」は、進行役の坂野さんのプロも真っ青の名司会もあり大変盛り上がり、賞品を手にして大喜びの人、なかなか数字がそろわず悔しがる人、会場は終始笑い声が絶えることなく、宴は爆笑の連続で参加者全員大興奮でした。

今年一年間の出来事や来年に向けての抱負などを語り合い、会員同士の交流を深めつつ、仕事のアドバイ



スを受けたり、情報交換も積極的になされていました。特に、北松浦支部の会員の皆さんは、東南アジア諸国の海外を積極的に訪問されている方がいらっしやり、若手会員を中心に、海外の文化や経済状況、渡航手段や現地での交通状況、宿泊に関する事など積極的に質問が飛び交い、改め北松浦支部は海外志向が非常に

V・ファーレン長崎



応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

広告募集

< 4 cm x 9 cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000



強い会員が多いことを知りました。

こうして楽しい時間はあっという間に過ぎ、より一層の親交を深められたことを会員一同確信しながら

ら、今年一年の締めとして堤副支部長の締めの挨拶で2017年の家族忘年例会を終えることができました。

今年の家族忘年例会も無事大盛況に開催できたのも、例会を毎回計画していただいている例会委員長の松瀬さんのご尽力があつてのことと思っております。松瀬さん、本当にご苦勞様でした。また、ビンゴゲーム大会の賞品をご提供いただいた会員の皆様も本当にありがとうございました。

来年2018年も北松浦支部の会員の皆様にとって良い年となりますように！

(文責 吉田 大)

五島支部 例会報告

日 時	12月16日(土) 19:00～21:00
会 場	観光ビル はたなか
内 容	忘年例会

今年も観光ビルはたなかさんで忘年例会を行いました。例会中には会員企業が持ち寄った景品が当たるく

じ引きや、次の年の各会員の目標の発表など、終始和やかに懇親を深めていました。

来年の自社の発展、同友会での新たな学びに期待しつつ2017年を終えることができました。

(文責 勝本 政裕)

青年経営者会 例会報告

日 時	12月19日(火) 19:00～21:00
会 場	かりーによ
テ ー マ	臨時総会

青年経営者会(以下、青経)来期の会長として現副会長の安井忠行さんが立候補し、役員選考管理委員が安井さんを臨時総会で推薦、そして満場一致で承認となりました。安井さんの会長就任をお祝いするために18名の出席がありました。

新会長の来期の展望として、青経会員をもっと増やし、そしてそれが同友会増強に繋がるようにしたいということでした。そして他支部へ積極的に出向き、そ

れぞれの支部で青経ができるように活動したいとも言われておりました。また、一年で次に交代することも公言し、三年後までの見通しも立てておりました。これからの青経はさらに魅力ある会になると思います。

臨時総会もスムーズな議事進行で盛会のうちに終わりました。それから同会場にて懇親会となり、忘年会も兼ねた感じで盛り上がりました。2017年の振り返りや、仕事や会社、経営や新事業の話なんかも飛び交っており、みんなそれぞれ頑張っって次に向かって進んでいるようでした。

(文責 橋本 裕次郎)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

2017年度 共同求人・社員教育活動全国交流会 in 島根 参加報告

開催日：12月7・8日(木・金) 会場：くにびきメッセ 島根県立産業交流会館

テーマ：地域で若者を育て、地域に若者を残す ～持続可能な地域と企業のために～



来年度、いよいよ長崎同友会に、共同求人委員会が設立される。経営指針、社員共育、共同求人が、私たち同友会が目指す三位一体の経営であるが、いま正に、三位一体の経営が長崎県に広まる夜明け前、黎明期を迎えている。

今年度は、県の共同求人準備委員会の委員長を拝命しており、9月に都内で開催された中同協 第3回 共同求人・社員教育合同委員会を始め、幾つかの勉強会に参加させていただいているが、共同求人は学べば学ぶほど奥が深い。私も現職を拝命するまで、共同求人については、特別な関心はなく、委員会活動も「同友会が行う新卒採用活動」程度に捉えていたが、大きな間違いだった。

今回の全国交流会で再認識できたのは、共同求人は、「採用委員会ではない」ということだ。「共同求人委員会は、合同企業説明会をするんでしょ？」と「ブースを出せば学生と会えるんでしょ？」などの発想は、同友会理念に大いに反する。各県の同友会が独自で開催する合同企業説明会は、「採用の場ではなく、社員教育の第一歩」であり、合同企業説明会以前に、「学生が地元に残る地域社会作り、そして自社を選んでもらえる企業作りが必要だ」などと、共同求人委員会には、何とも「同友会らしい」素晴らしい理念と行動の指針が宿っている。

そして共同求人委員会に宿る理念と指針は、同友会三つの目的全てに関係している。

「よい会社をつくろう」—まず私たちは、「企業が学生を選ぶ」のではなく、「学生から選ばれる」企業作りをすることが、一丁目一番地となる。「学生から選ばれる」ためには、まず、現在雇用している社員から選ばれる企業でなければならない。社員が夢を持てる会

社、自分の5年後、10年後のビジョンを描ける会社作りをすることである。よって、経営理念の策定は当然として、個々のビジョンを描く下地となる経営指針書の作成も必須となる。

「よい経営者になろう」—労使見解で言うところの、労使対等であり、人間尊重の経営、人を生かす経営を実践しているかが大切になる。今年9月の中同協 第3回 共同求人・社員教育合同委員会では、就業規則の見直しが大きなトピックとなった。雇用に関する法律が労働者視点で大きく改正されていく昨今、就業規則が、労使対等の土俵で策定されているかを見直し、今後の法律改正に沿った規則改定も随時行う必要がある。広島同友会では、合同企業説明会に参加希望する会員企業の就業規則を、広島県社労士会にリーガルチェック(有料)を依頼し、社員を守る就業規則の作成を推進しているとのことだった。

「よい経営環境をつくろう」—地域社会に若者を残すための地域連携である。全国的に「うちには人が来ない」「定着率が悪い」そのような愚痴をこぼす企業もあるかもしれないが、共同求人委員会では、人が来ないのは自社のPR不足、若者が中小企業についてよく知らず、中小企業にネガティブなイメージを持っているからなどと分析されている。よって、共同求人委員会は、大学を始めとした高等教育機関はもちろんのこと、小学生・中学生やその親に対して、自分が生まれ育った地域で働くことの意義、そして地域社会に根ざした中小企業の価値を伝え続けていく地道な努力が必要となっている。

最後に、共同求人委員会は他の委員会と横断的な取り組みをすることが必要となる。長崎県でも、次年度の活動計画を出す前に、各委員会と連携体制を取るための会議開催を提案したい。また、来年度は各支部に共同求人委員会を新設していただき、県の共同求人委員会活動をぜひご支援いただきたい。

地域経済の発展のためには、若者が故郷に夢と未来を感じる企業づくりが必要だ。同友会が推進する三位一体の経営を実践する会員企業が、その大きな下支えとなると信じてやまない。

(文責 共同求人準備委員長 橋口 久)

全国事務局長会議 参加報告

開催日：12月15・16日(金・土) 会場：フォーラムエイト(東京)



今年の全国事務局長会議は東京で開催され、45同友会の事務局長に加え、各地の専務理事や次長が参加し2日間に渡り学ばせていただきました。

1日目は事務所の労働環境や役員との信頼関係づくりについて、2日目は広浜会長から「2019年5万名へ向けて、事務局長のみなさんへの期待」という内容で問題提起をいただきました。今回の学び・気付きは下記の3点にまとめます。

①同友会運動を系統的に担う事務局としての力量の向上、安心して働くことができる環境づくり、役員との信頼関係づくりということを役目として再度とらえること。



②同友会が抱える課題の全てを社会性・人間性・科学性の観点から抽出し、PDCAをまわしていくこと。
③よい事務局をつくり、よい事務局長になり、よい同友会環境をつくること。

各地の情報を取り入れながら2019年の全研を迎える長崎同友会がさらに発展するために最大限の知恵を絞って運動に参加させていただきたいと思います。自分自身の力量と視野を広げるためにも謙虚に学び1つでも多くのことを実践していきたいと思います。

(文責 事務局 峰 圭太)

ダイバーシティ委員会 11月勉強会 開催報告

開催日時：11月28日(火) 18:00 会場：プラザおおむら

テーマ：知っていますか？社員のきもち ～がんと共に生きる、いのちについて考えたことありますか？～

報告者：いのちの教室 芥川 あかね 氏



ダイバーシティ委員会は、11月は勉強会という形で、講師に芥川あかね氏をお迎えして、「がん」についてのお話をさせていただきました。

芥川さんは夫と17歳の娘を持つ現役看護師で、高校卒業までは大きな病気もなく、テレビドラマがき

かけで看護の世界に入ったそうです。しかしながら、働き始めてからしばらくして脳腫瘍を発病。その後乳がん、卵巣腫瘍を発病してしまいます。会社の上司からも心ない言葉を言われたこともあったそうです。管理職として働いていたものの、戦力外通告をうけたそうです。

他にもつらかったこととして、家族、特に娘さんに伝える時がつらかったと仰っていました。娘さんに伝えるときはご主人と打ち合わせをして、ショックを与えないようにタイミングを計って伝えたそうですが、それでもショックは大きく、「ママ死んじゃうの？」と泣き叫ばれて非常につらい思いをしたそうです。

また、報告のなかで芥川さんからがんに関するさまざまな知識、情報を聞くことができました。たとえばがんの主な原因といわれているもの、たばこ、酒、ストレス等にはやはり気を付けないといけないというこ



とや、がんは早期発見することで生存率が上がるので、定期的ながん検診を受けることの大切さ等を教え

ていただきました。

出席者の会員の方も「自分の身近な人や、社員さんががんにかかってしまったら、どうすればいいのか？」といった疑問に真剣に考える貴重な機会を得られた勉強会だったようです。また、ゲストの方も芥川さんのお知り合いの方をはじめとして多数参加され、会場が空き椅子がないくらい盛況でした。

また、勉強会後の懇親会ではテラスフィールドに移動して、ゲストの皆様と会員との交流を深めました。

(文責 北川 亮)

長崎純心大学キャリアフェスタ 参加報告

開催日：12月13日(水) 会場：長崎純心大学



2017年6月に調印した長崎純心大学との包括連携協定の成果として、今期会員によるキャリア講座での講師(長崎出島支部:中村こずえさん)、個別インターンシップの受け入れ(長崎浦上支部:泉さん、吉澤さん、長崎出島支部:岩崎さん、中村こずえさん)など取り組んで来ました。12月13日(水)には長崎純心大学のキャリアフェスタというイベントにおいて、キャリアデザイン室を活用し「社長の話を聞こう!」という企業経営者と学生の意見交換会を参加しました。会員の参加は13名、学生の参加は25名程度でしたが各グループにおいて様々な意見交換がなされました。今後も学生と企業の接点を増やし、実を伴う連携企画を継続して行っていきます。ご興味がございましたら是非積極的にご参加くださいますようお願いいたします。

以下、参加された会員および学生さんの意見の一部をご紹介します。

(長崎純心大学 学生の意見)

・どの企業でも共通して大切なことは笑顔であることと人間関係だとわかりました。

・フリートークだったためゆっくりした雰囲気ですごく大切なことだと話していただけて、私自身大切にしようと思いました。

・どんな人と働きたいかを企業の方から伺うことができ良い経験でした。

・様々な業種の社長さんと話ができ、目標を持つことの大切さ、積極的に行動することの重要性を学びました。

・とても話しやすい雰囲気ですごく色々なお話を聞くことができました。またこのような機会があれば必ず参加します。

・就職活動のためだけでなく、これから生きていくうえで大切なことを伺うことができよ経験になりました。

(会員企業参加者の意見)

・売り手市場の就活状況の中で、1年生の時から参加する姿勢は素晴らしい。学生の強みを自覚していない生徒が多いので、戦略的に学生時代を過ごした方がいい





い、内定取るのは目標ではなく、手段なので。(長崎浦上支部 松本 一孝会員)

・初めて学生との意見交換会に参加しましたが、初めはお互いに何を話していいのかわからない状態でしたが徐々に打ち解けることが出来ると、自分が思っていた印象とは違う考えを聞く事が出来たり、学生さんがどのような事を求めているのかなどを聞く事が出来とても良い時間でした。(長崎浦上支部 山口 善也会員)

・我が子よりも若い人たちとフランクにお話できる



のは刺激になって良いですね。選択の節目でもある2年生の考えや悩みや希望も聞いてみたいと思いました。次回も参加決定!(諫早支部 上野 辰一郎会員)

・学生にとって、仕事に対するイメージが掴めている人と、そうでない人の差が大きい。入社後の離職率が高い理由は、甘い言葉で雇用率を上げようとする企業側に大いにある。お互いにもっと真摯に向き合うことが必要。(株)昭和堂 永江 正澄氏)

(文責 事務局 峰 圭太)

佐世保支部 第4回 ビジカルランチ 開催報告

開催日時：12月7日(木) 11:30 会場：ハーベストキッチン テーマ：広告の役割と活きた広告
報告者：(株)広告のアクセス 代表取締役 山領 進 会員



夜の例会に参加できない会員さんにも役立つように、又、会員以外のゲストの方も、お気軽にご参加いただけます様、ランチの時間帯に気軽な交流会とする事を目的とし、「第4回ビジカルランチ」をハーベストキッチンにて開催致しました。

参加者はゲスト4名・会員25名(内諫早支部より1名)、合計29名でした。

11:30~12:00講話。12:00~13:00迄をランチしながらの交流会とし、13:00



終了。

参加者からは、「とても解りやすく、為になる講話だったので参加できて良かった。」「赤ちゃん連れて参加できるので良かった。また参加したい。」との嬉しいお声をいただきました。

また今回は鶴野さん(つるの整骨院院長)による5分間の健康ワンポイントアドバイスの時間を設けていただきました。

今後も月1回開催する予定です。このビジカルランチが、会員やゲストの方の交流の場となり、支部活動の活性化に繋がりますように願っております。

(文責 村上 敦子)

事務局企業訪問

今回は、大村支部長を務められておられる、益田智行さん（株）双葉建設）にお話をお伺いしました。



<（株）双葉建設>

双葉建設は益田さんのお父様が創業、総合建設業・不動産業として特に道路の造設や橋台の施行をされています。

益田さんは大村生まれの大村育ち、高校卒業後は県外の大学に進学。3人兄弟の長男だったため、いつかは家業を継ぐものだと思っていましたが、大学生だった20歳の時に、お父様が交通事故で突然の他界。お父様の跡を継ぎ社長になったお母様を助けるため、大学を中退して大村に戻り、双葉建設に入社しました。

そして20代の後半になると社長のお母様に代わって経営に携わる様になり、会社を盛り上げようと必死に取り組みました。

<同友会との出会い>

益田さんの同友会との出会いは、従兄弟で前大村支部長でもある上谷さんの紹介でした。経営をまじめに学べる会だと思い、30代の時に入会したいと思ったのですが、別の会の役もあったため40歳を過ぎて入会。入会すると大村市外の方や様々な業種の方と知り合え、話ができ、しっかりと勉強が出来る環境があり多くの学びを得ることができたと語られました。特に長崎同友会がブロック化された時に行われた経営フォーラムでは諫島支部とともに、経営フォーラムのことだけでなく、仕事のことも多く語り合ったことが印象深く残っているということでした。

<人に優しく、人を愛し、人とともに…>

経営理念ではないとのことですが、「人に優しく、人を愛し、人とともに…」というキャッチフレーズを掲げ、自社のカレンダーや工事現場のシートに記載し

ています。これは、職人がいなく、幹部社員を育てることもできず悩んでいる時に作成しました。社員を始め、納入業者やお客様、そして地域に対する心構えということです。実際にこのキャッチフレーズを作ることによって益田さん自身が社員に対してきつく言うことが少なくなり、柔らかい態度で接するようになっていったそうです。

<今後>

今後、現状のマーケットの中でどこに注力するのか、何を追加していくのか悩んでいるということでした。昔は会社を大きくしたいという気持ちが一番でしたが、環境も激変し今はいたずらに大きくしても無理がでると感じています。そこで本業をしっかりと固めたうえで、幅を持った取り組み・事業展開をしていきたいということでした。

また、お母様が世話好きだったこともあり、地域貢献にも多く取り組まれていました。そのうちのひとつとして始めた大村のミニバスケットボールの大会である双葉建設杯も今年で10年目となり、これからも地域を盛り上げる取り組みを続けていきたいと語られました。

益田さんの同友会活動・本業ともにさらなる活躍を祈念いたします。今回は企業訪問にご対応いただきありがとうございました。

<会社概要>

（株）双葉建設

住所：〒856-0807

大村市宮小路3丁目2002-10

TEL：0957-55-8476

FAX：0957-55-8449

「人に優しく、人を愛し、人とともに…」

（文責 事務局 田口 友廣）



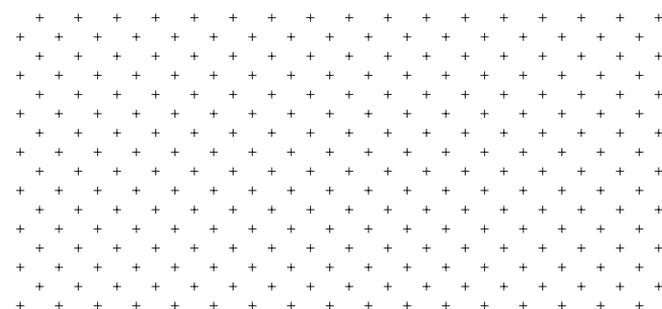
新入会員の皆さんです < 12月入会・交代・復会 > (敬称略)

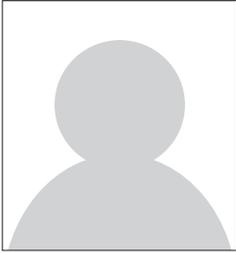
< 入 会 >

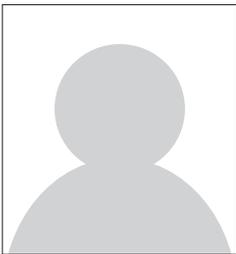
支 部 名	長崎浦上支部	
氏 名	しもむら りこ 下村 理子	
企 業 名	ラウンジ アロー	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒852-8154 長崎市住吉町7-2 小出ビル2F	
T E L	095-844-7020 F A X	
業 種	飲食業(スナック)	
企 業 PR	収容人数20名様ほどの小さなラウンジですが、明るく可愛いスタッフが楽しい時間をすごして頂けるよう頑張っています。	
スポンサー	山口 憲男	

支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	いわもと やすあき 岩本 泰明	
企 業 名	(株)Tamago	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒852-8154 長崎市住吉町11-17	
T E L	095-815-8251 F A X	
業 種	菓子製造販売・その他サービス業	
企 業 PR	障がいのあるなしに関わらず、その人に合った仕事を創造していく、全ての人が笑顔で働ける会社になります。まずは第一歩で、チョコレート事業からスタートします。	
スポンサー	山口 憲男	

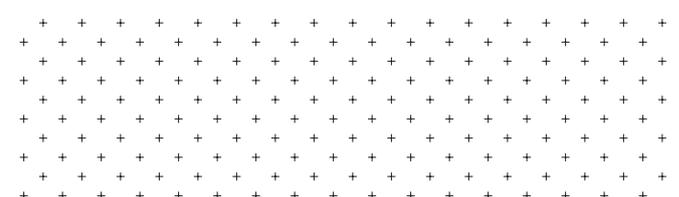
支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	かわじ はづき 川路 はづき	
企 業 名	(株)俊葉ダイニング	
役 職 名	専務取締役	
企 業 住 所	〒850-0852 長崎市万屋町5-26 2F	
T E L	095-893-8933 F A X 095-893-8933	
業 種	飲食業	
企 業 PR	「カウンターから始まる世界平和」偶然カウンターで隣りに座った人同士が仲良くなる。この何気ないことを少しずつくり返していくと世界が平和になる。そのきっかけとなる場所になれるように。	
スポンサー	山口 絵理	



支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	くぼ ひるとし 久保 博寿	
企 業 名	(株)デュアルキーシステム	
役 職 名	執行役員	
企 業 住 所	〒852-8153 長崎市花丘町4-16 3F	
T E L	095-894-7771 F A X 095-894-7773	
業 種	IT関連業	
企 業 PR	<p><経営理念> DualkeySystemは、日々、社員1人1人が技術向上に精進し、強い会社へ成長し、「お客様が持つ夢の鍵」「DualkeySystemが持つ夢の鍵」2つの鍵で、理想とする世界の扉、豊かな社会生活の扉を開きます。</p> <p><行動指針> 1. 全ての成功は、社員の夢の中にあり、経営理念に基づき行動することにある。 2. 社員全員が、常に前を向き、上を向き、少しずつ歩き、夢を目標と変えて前進する。 3. 顧客の為、仲間の為、会社の為、社会の為、自分以外の誰かの気持ちを考え、誰かの立場に立ち、常に行動する。</p>	
スポンサー	中村 こずえ	

支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	すがわ まさひこ 須川 昌彦	
企 業 名	パパヤ	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒850-0022 長崎市馬町52	
T E L	070-5496-0907 F A X	
業 種	カラオケ・バー	
スポンサー	安井 忠行	

支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	そのだ のりこ 園田 能理子	
企 業 名	(有)エヌ・エス住宅	
役 職 名	取締役	
企 業 住 所	〒852-8135 長崎市千歳町21-14	
T E L	095-842-5570 F A X 095-842-5580	
業 種	不動産取引業・建築業	
企 業 PR	誠意と真心で応援したいお客様の為に、常に、勉強していく会社を目指しています。	
スポンサー	中村 優次	



支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	たかはま ゆうし 高瀨 有志		
企 業 名	(株)経営支援センター		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0053 長崎市玉園町1-11 ヒードロヒルズ303		
T E L	095-895-5950		F A X
業 種	経営コンサルタント		
企 業 PR	金融機関勤務を経て、税理士業界へ転職し、のべ1,000社以上の決算業務に従事。顧客から事業承継やM&Aに関する相談及び業務が増加したため、税理士法人から独立し、事業承継・M&Aを中心に経営コンサルタント業務を行っています。		
スポンサー	城尾 忠明		

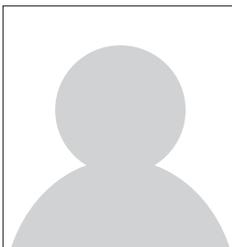
支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	もり かんじ 森 寛二		
企 業 名	(有)アトラス		
役 職 名	取締役		
企 業 住 所	〒850-0011 長崎市鳴滝1丁目19-12		
T E L	095-827-7222		F A X
業 種	カイロプラクティック		
スポンサー	山口 憲男		

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	ともしげ たらう 友重 太郎		
企 業 名	(資)山中商店		
役 職 名	長崎支店長		
企 業 住 所	〒852-8133 長崎市本原町13-20		
T E L	095-843-2211		F A X
業 種	醤油味噌醸造元		
企 業 PR	創業100余年。長崎・島原雲仙からの湧水に恵まれた千々石の郷で、天然醸造にこだわり伝統の製法を続けております。		
スポンサー	城尾 忠明		

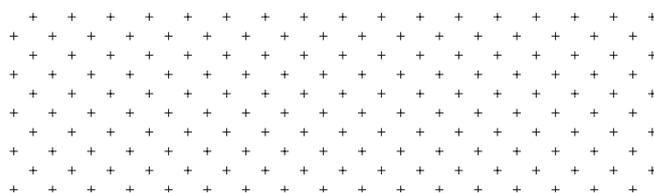
支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	もりやま ひろし 森山 博史		
企 業 名	Daisy Hill 長崎		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒850-0901 長崎市本石灰町2-22		
T E L	090-7870-3055		F A X
業 種	バー		
企 業 PR	長崎の町の何かに魅かれて大阪から4年前に引越して来ました。テイヂの森山です。オーストラリアで住んでいた一番落ちつく町の名前がお店の名前です。よろしくお願ひします。		
スポンサー	城尾 忠明		

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	ひさまつ めぐみ 久松 恵		
企 業 名	ゆすあ		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	長崎市		
T E L	090-6426-7805		F A X
業 種	身体を緩めるリンパケア・心と身体のゆるめ屋		
企 業 PR	私は、18年 病院や施設で作業療法士として働いてきました。病氣の原因はストレスと緊張。心や頭、身体の筋肉を緩めることで、身体は勝手に治っていきます。アロマオイルの植物のパワーも借りて、心と体を緩めて、健康に戻す ゆるめ屋「ゆすあ」です。強く揉んだり、強く押ししたりしない服を着たままのできるアロマリンパケアです。心を緩める、マヤ暦などのセッションも行います。よろしくお願ひします。		
スポンサー	庄司 博昭		

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	やまもと えみよ 山本 恵美代		
企 業 名	(株)優笑		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0023 長崎市出来大工町46 M'tアレンジビル1F		
T E L	095-828-5376		F A X
業 種	保険代理店・飲食業		
スポンサー	中村 こずえ		

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	みずかみ たかひろ 水上 貴洋		
企 業 名	(有)エーシーエス		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒851-2107 西彼杵郡時津町久留里郷7-5		
T E L	095-882-5888		F A X
業 種	自動車販売・リース・レンタル		
スポンサー	山口 憲男		

支 部 名	大村支部		
氏 名	よしだ こうじ 吉田 浩二		
企 業 名	(有)吉田組		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒856-0847 大村市西部町692		
T E L	0957-54-5808		F A X
業 種	総合建設業(土木・建築・とび土工)		
企 業 PR	総合建設業として、土木・建築工事業を営んでおります。公共工事や民間の工場の基礎を主に請け負ってます。		
スポンサー	高瀬 邦彦		



支 部 名	諫早支部		
氏 名	の だ ぶんこ 野田 文子		
企 業 名	杏てい		
役 職 名	店長		
企 業 住 所	〒854-0003 諫早市泉町25-32		
T E L	0957-21-8155	F A X	
業 種	中華料理店		
企 業 PR	地産地消にこだわった、手作りとおもてなしの店。お客様の健康長寿を願い、常に報恩感謝を胸に不屈の精神を貫きます。		
スポンサー	山口 大輔		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	うえすぎ よしくに 上杉 芳邦		
企 業 名	(株)プラスセブン		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0052 佐世保市松浦町5-18		
T E L	0956-24-7777	F A X	
業 種	レジャー事業・不動産業・飲食業		
企 業 PR	アミューズメント企業として地域に根ざした笑顔の営業を実践し、これからも地域発展のために貢献してまいります。		
スポンサー	松尾 慶一		

支 部 名	島原支部		
氏 名	ひら もとひろ 平 元洋		
企 業 名	(株)しまばら創生		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒855-0012 島原市大手原町甲2141-14		
T E L	0957-61-1831	F A X	
業 種	農業・農産加工		
企 業 PR	6次化を含む農業を通じ、地元での雇用の創出と島原野菜のブランド化を目指し、取り組んでいます。		
スポンサー	北浦 雄一		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	うがわ えいしょく 烏川 栄植		
企 業 名	(株)烏川商事		
役 職 名	常務取締役		
企 業 住 所	〒859-3223 佐世保市広田4丁目1-18		
T E L	0956-38-2150	F A X	
業 種	パチンコ業		
企 業 PR	長崎県下5店舗経営。		
スポンサー	松尾 慶一		

支 部 名	島原支部		
氏 名	よこた きんご 横田 金吾		
企 業 名	(株)横田ファーム		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-2113 南島原市布津町丙4620-67		
T E L	0957-72-4814	F A X	
業 種	養鶏(ブロイラー)		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	うすい ひな 白井 陽菜		
企 業 名	Double(ダブル)		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0871 佐世保市本島町5-4 ライオンタワー 2F		
T E L	0956-22-2140	F A X	
業 種	飲食業		
企 業 PR	皆様の疲れをいやす、お店作りに努めています。		
スポンサー	片桐 孝章		

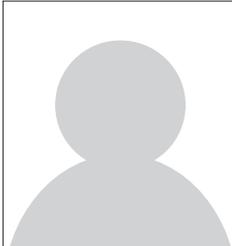
支 部 名	佐世保支部		
氏 名	いで たかし 井手 隆司		
企 業 名	アトム不動産(株)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0834 佐世保市潮見町11-18		
T E L	0956-33-2316	F A X	
業 種	不動産業		
企 業 PR	不動産の賃貸、売買やアパート、マンション、月極駐車場などの管理業務などを行っております。遊休不動産の活用やアパート、マンション経営など不動産のご相談はお気軽にご連絡下さい。		
スポンサー	野田 洋市		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	おぐす ひろし 小楠 博		
企 業 名	FC MARIOLO 2006		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒858-0922 佐世保市鹿子前町578-3		
T E L	0956-88-7591	F A X	
業 種	スポーツ教室		
企 業 PR	サッカー、フットサル、子供達に笑顔と夢を届けます。		
スポンサー	川下 眞文		

+++++

+++++

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	ふるかわ かずき 古川 和樹			
企 業 名	(有) 顕親			
役 職 名				
企 業 住 所	〒858-0907 佐世保市棚方町268-2			
T E L	0956-48-5353	F A X	0956-48-5363	
業 種	建設業			
企 業 PR	弊社は、主に総合建設業を生業としており、2018年には20周年になります。弊社では公共建築やマンション、介護施設、保育園などの施設の新築工事の着工から竣工に至るまでの総合的な工事管理や、最近では耐震補強工事や環境改善のためのリフォーム工事も請け負っております。その中で弊社が最も大事にしていることが品質の管理であり、これを弊社の持ち味としてきたことが、これまでの実績に繋がっており、お客様の信頼を得ることも繋がってきたと自負しております。これからもお客様の様々なご要望に対して、真摯に向き合い、技術と信頼でお応えしていける企業でありたいと思っております。			
スポンサー	小田 雅雄			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	まえだ たけのぶ 前田 忠信			
企 業 名	(株) 笑心一			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒859-3202 佐世保市上原町1153			
T E L	0956-37-8222	F A X	0956-37-8220	
業 種	廃棄物回収業			
スポンサー	原田 良太			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	まきしま おさむ 牧島 修			
企 業 名	(株) マキノ			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒857-0133 佐世保市矢峰町921-2			
T E L	0956-55-3035	F A X	0956-55-3172	
業 種	総合建設業			
スポンサー	川下 眞文			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	まさき かずひこ 正木 和彦			
企 業 名	(株) カエルシステムズ			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒858-0922 佐世保市鹿子前町944-1			
T E L	0956-28-6659	F A X	0956-59-8107	
業 種	電気通信工業			
スポンサー	野田 洋市			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	もうり なつみ 毛利 なつみ			
企 業 名	未来予想図			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-0871 佐世保市本島町5-4 ライオンタワー 901			
T E L	0956-24-3363	F A X		
業 種	飲食業			
スポンサー	野田 洋市			

支 部 名	北松浦支部			
氏 名	やまぐち まり 山口 真理			
企 業 名	Vive (ヴィヴ)			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒857-0341 北松浦郡佐々町羽須和免 794-1 1-B			
T E L	0956-63-5166	F A X		
業 種	飲食業			
企 業 PR	明るく、おちついたお店です。			
スポンサー	稲沢 文員			

< 交 代 >

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	すが ひろこ 菅 博子			
企 業 名	(株) 深町組			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒857-1172 佐世保市東浜町991-1			
T E L	0956-31-8138	F A X	0956-33-2082	
業 種	運送業			
企 業 PR	創業115年を迎えました。			
前 会 員	深町 等			

< 復 会 >

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	みね しゅんすけ 峰 俊典			
企 業 名	長崎保険サービス(株)			
役 職 名	代表取締役会長			
企 業 住 所	〒850-0015 長崎市桜馬場1丁目2-4 グリーンビル304			
T E L	095-818-4877	F A X	095-818-4860	
業 種	保険代理店			
スポンサー	宮田 正一			

+++++

+++++

<復会(交代を伴う)>

支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	こばやし しんや 小林 伸也		
企 業 名	共栄住建(株)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒852-8065 長崎市横尾3丁目21-14		
T E L	0957-43-3104	F A X	0957-43-3066
業 種	屋根工事業		
スポンサー	本多 邦暁		



支 部 名	長崎出島支部		
氏 名	みやざき たいき 宮崎 太樹		
企 業 名	長工醤油味噌協同組合		
役 職 名	理事兼管理部 部次長		
企 業 住 所	〒856-0844 大村市溝陸町815		
T E L	0957-53-4678	F A X	0957-53-7537
業 種	食品(調味料)製造業		
企 業 PR	原材料にこだわり、伝統の製法を最新鋭の設備で安心で安全、品質を重視した商品づくりをおこない、お客様の食卓へ健康と美味しさそして笑顔をお届けすることをモットーに、日本人の食の原点である醤油・味噌を通じ、健康で豊かな食生活を育んでいただき、食の未来を次世代へ伝えることを社会的使命とします。		
スポンサー	松尾 慶一		



会員活躍

県境越え障害者縁結び

今月、佐世保に専門結婚相談所

障害者らの職業訓練に取り組み就労継続支援A型事業所を運営する佐世保市の企業フュージョンは1月、障害者専門の結婚相談所「ナチュラル・マリッジ長崎」(中村耕司代表)を開業する。一般社団法人が運営する全国組織に加盟し、県境を超えて出会いの場を提供。雇用だけでなく私生活の案も手助けし、自立を促す。

地元の就労支援企業が開設

厚生労働省の統計によ、知的障害3割、精神はわず、人も喜んでおり、障害者、配属者がいる障害、か敷きと、統計は結、が結婚するハードルは、婚後に障害が認定された、高いのが現状だ。

長崎新聞 1月3日 佐世保支部 中村 耕司 会員

上、男性は就労継続支援A型事業所を営む職に就き、一定の収入を得ていることが求められる。3月までは3万円の入会金を無料にして、より多くの会員を集める方針。中村代表は「結婚できる障害者はまだ少ない。お金を稼ぐだけでなく、人生の伴侶を得て家庭を築こうとする気持ちがある。障害者の自立につながる。会員による婚活パーティも開催中。相手とのお見合いには仲人の担当者が同席する。入会の条件は20歳以上(後継者準)

チョープロ

ウェアラブル端末配備へ

ガス復旧など 遠隔指示で効率化

液化石油ガス(LPG)販売のチョープロ(西彼長与町)は、顧客の設備に不具合が生じた際、駆け付けた社員が眼鏡式のウェアラブル端末を身につけて、遠隔地のベテラン技術者から作業支援を受けるシステムを導入する。経験が浅い社員でも、現場画像の送受信を通じてリアルタイムで的確な指示を受けられ、点検や復旧などの作業を効率化できる。来年春季に始める予定。

が直接駆け付けるか、現場社員が行って分からないことがあれば電話で指示をおおいでいた。端末導入によってベテランの負担を軽減。現場社員は両手を使えるようになるため作業レベルが向上、スキルアップも期待できるという。(田賀農謙龍)

現場担当は県内4拠点に計約50人おり、端末は計約10台を配備予定。初期投資は約500万円の見込み。同社は「一秒でも早く、高い質で、お客さまに対応したい」としている。端末は眼鏡に取り付けられる小型機器。カメラ、モニター、マイク、スピーカーが付いている。例えば、

飲食店や病院、個人宅でガス設備に不具合が生じた場合、社員が急行。現場の機器類を映した動画を本社などのベテラン技術者がパソコン画面で確認し、チェックを入れた静止画を端末に送り返す。現場社員がそれをモニターで確認し、通話で指示も受ける。従来の緊急時はベテラン

長崎新聞 12月21日 長崎浦上支部 荒木 健治 会員

1月理事会 議事録 抜粋

1月5日(木) 19:00~21:00
つくば倶楽部 出席13名 欠席10名

開会挨拶-松尾代表理事

あけましておめでとうございます。2018年を迎えたということは、2019年長崎での全研が1年後に迫ってきました。全国大会を長崎で開催するにあたり、会勢1000名で迎えましょう。仲間づくりを今年もよろしくお願ひします。

仲間づくりについて

1)入会・復会・交代・退会・取下の承認について-

3名の入会、1名の復会交代、1名の退会、1名の取下を承認

西山仲間づくり委員長総括-

あけましておめでとうございます。12月18日に委員会を開催し、1時間みっちり委員会開催後忘年会を行いました。五島からも2名参加いただきました。五島支部は目標達成まであと4名で、目標達成に向けてリストも上がっています。2月14日に向けて各支部の目標を達成すれば、長崎県で755名が達成できます。2019年2月の全研に向けて、1000名を目標に頑張りましょう。また今年の予算で名刺の裏に貼る「チャレンジ1000」というシールを作成したいと思います。

(松尾代表理事より)

みなさんが、各支部の目標を達成していただくことができれば、755名はできない数字ではないと思います。今日から2月14日に向けて準備をしてください。また、支部役員で役割分担をして動いてください。役員が動けば支部の会員も動きます。ダイヤモンドクラブの皆様も応援してくれます。支部長は大変だと思いますが、支部長が動かなければ活性化しません。できないと思うところは、私に相談してください。一緒に解決策を考えていきましょう。

協議・承認事項

1)2018年度に向けて

○来期活動方針案について

(三役会案)

各支部役員会にて意見がなかったが三役会の意見を受け若干追記した方針案の検討

※理事会承認後2017年度の振り返り、2018年度活動方針案のワークシートをe.doyu 掲示板に掲載

→三役会案を承認、総会へ上程

今後のスケジュールとして、2月理事会に支部長・県委員長の活動報告・活動方針を承認後、e.doyu 掲示板にアップし、支部委員長が、活動報告・活動方針を作成する。2月支部役員会にて、支部委員長の活動方針及び活動報告を確認し、支部で取りまとめ2月22日までに事務局へ提出する。

○三役、委員長人事に関して

→長崎浦上支部長、青経会長の内容を追加した役員案を確認

→上記を確認。3月より現・新理事会となることを確認

○予算に関して(佐世保支部からの提案事項含む)

(三役会案)

・現状理事会、三役会においては交通費の補助を行っている。今後県の委員会においても同様の補助を行う方向性をとるが、金額、管理・処理方法については再度三役会で検討する

(意見として)

・経営労働委員会としては県央以外でも委員会の開催をしたいので、交通費補助があれば参加しやすくなると思う

・各支部で補助があると思っていた→各支部の補助の状況をヒアリング

(総じて)

事務局で各支部の委員会参加時の補助の実態を取りまとめ、そ

の情報を基に協議する。各支部長へ委員会参加補助の状況について事務局へ連絡することを依頼

・事務費補助について

(前回までの方向性)

事務費補助について、会場費を2万円としそこに会勢×50円×12カ月を上乗せする。ただし下限を5万円とする

(今回代替案)

~50名...50,000円、51名~75名...60,000円

76名~100名...70,000円

101名~125名...80,000円

126名~150名...90,000円

151名~175名...100,000円

176名~200名...110,000円

→代替案を承認。期首の人数で判断する。また長崎浦上支部と長崎出島支部は事務費補助については対象外とし、事務局を使用する。来期は事務費補助の消化状況を精査し、再来期に向け検討する

○第47回定時総会に関して

(前回までの決定事項)

4月19日(金)13:30~、諫早観光ホテル道具屋。参加費は総会のみは無料、懇親会参加の方は5,000円とする

(今回提案分)

記念講演を鹿児島同友会の上塘代表に依頼

→承認

○事務局員採用に関して

(三役会案)

全研を控えている状況下、各支部や委員会活動も活発化、同時に第4次ビジョンの検証と第5次ビジョン作成の年度となり、業務が多岐および多忙になることから、専門の経理をパート・アルバイトとして募集。同時に正局員をもう1名追加で募集する。

→確認

2)第49回中小企業問題全国研究会について

(前回までの決定事項および検討事項)

開催日を2019年2月21・22日(木・金)、メイン会場をホテルニュー長崎

(今回提案分)

各支部の部会担当案を提案。承認いただければ部会長・副部会長を1月末までに各支部選任いただき1月30日の実行委員会に参加いただく。またキャラバンに使用するシールデザインに関しては実行委員会に一任

(意見・質問として)

・しっかりと役割分担をして取り組みたい

・受付や迎え等、部会長以外の協力が大事になると思います

(総じて)

上記提案を承認。役員会時に各支部の部会担当について分かりやすいリストを配布する。また兵庫全研までにキャラバンで使用するシールを準備する

3)2018年賀詞交歓会について

(前回までの確認事項)

2018年1月23日(火)、

ホテルニュー長崎 17:00~19:15

(今回提案・確認事項)

動員状況確認。来賓挨拶、鏡割りの配役等に関しては三役一任。

→上記提案を承認。動員状況・広報誌担当について確認。

4)第24回経営フォーラムについて

(今回提案・確認事項)

欠席者へのDVD送付完了。また今後DVDの販売価格を、手渡し2,000円、郵送2,500円と統一にする

→上記提案を承認。欠席者へのDVD送付完了を確認

- 5) 企業変革支援プログラムの活用について
 (理事会決議事項)
 10月を理事、11月を支部役員、12月を一般会員の登録推奨月間とする
 (今回確認)
 未登録理事6名
 →1月理事会参加者の登録を確認。支部会員へ登録を促すことを依頼。また宇土経営労働委員長より、来期に企業変革支援プログラムの勉強会を企画していることが報告される

報告・連絡事項

- 1) 1月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について
【政策委員長】
 1月は景況調査実施月のため、各支部例会の際に e.doyu 未回答者へ景況調査の記入とその場での回収をお願いします
- 2) 例会について(更なる例会の充実をめざして) - 山口例会委員長
 ・12月例会の出欠状況と1月例会について各支部にヒアリング(山口例会委員長より)
 ・出席率の目標が達成できているのが長崎出島支部のみ。例会委員長だけでなく、役員会で役員一丸となって、出席率向上のために具体的にどうするか協議をお願いします
 ・ビジョン委員会から提案があったように、来期の課題でもあります。返信率100%を目標としてはどうでしょうか
 ・例会の出欠返信の催促はやりにくい作業でもあるので、例会委員長だけに任せるのではなく役割分担をお願いします
 ・1～3月は出席率が下がる傾向にあるので、例年通りにならないよう取り組みをお願いします
- 3) 中同協 主要行事の紹介
 理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)(敬称略)

12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会/島根 佐世保一橋口
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会/兵庫/キャラバン開始 現在47名(40名目標)
5月24・25日(木・金)	中同協役員研修会兼九州・沖縄ブロック支部長交流会/熊本
6月21・22日(木・金)	第21回 女性経営者全国交流会/埼玉
7月5・6日(木・金)	第50回 中同協定時総会/宮城
9月13・14日(木・金)	第6回 人を生かす経営全国交流会/宮崎
11月29・30日(木・金)	第46回 青年経営者全国交流会/沖縄
2月21・22日(木・金)	第49回 中小企業問題全国研究集会/長崎

- 4) 12月9日(土)、13日(水)、20日(水)純心大学との連携内容について(吉澤支部長、中村支部長、松本委員長、山口善委員長、峰事務局次長)
 (中村支部長)12月9日は学生も多く参加があり、こんなに良い企業があるとは知らなかったという感想や私たちのために時間を使って準備をしていただいたという社長の姿勢に感激したという意見をいただきました。12月13日の意見交換会では同友会より12名、学生が約20名参加し、私たちのためにきていただきありがたいという言葉をいただきました。

(吉澤支部長)純心大学の学生を受け入れるのは2回目でした。勉強になるのは経営者と社員だと思います。自社がどういった会社であるのか伝える力が養え、またカリキュラムを考えることで社員の成長にもつながります。3日間ということで、学生も参加しやすいようでした。皆さんもぜひ次回はインターンシップに参加してください。

- 5) 12月15・16日(金・土)全国事務局長会議参加報告(峰事務局次長)
- 6) 12月18日(月)県コンソーシアム内、情報発信ワーキンググループ参加報告(峰事務局次長)
 進捗の報告がありました。Nピカという認証制度があり、現在35社が認証、うち4社が同友会会員((株)チョープロ、(株)エイコー商事、(株)西海福祉の森、(株)ドゥアイネット)です。採用活動にも関係することもあるかと思しますので、ぜひ活用ください。
- 7) 12月20日(水)第3回留学生活躍支援ワーキンググループ参加報告(田口事務局員)
 留学生活躍支援ワーキンググループとは、長崎県内教育機関の留学生の県内就職の促進を目的としています。現在、留学生の活用セミナーや留学生と企業との交流会を行っています。中小企業として採用・ビザ申請・定着等の相談窓口が分かりづらいため、施策に反映していただけるよう依頼しました。また1月18日は長崎留学生支援センター主催の留学生との交流会、1月29日はダイバーシティ委員会の留学生採用についての勉強会もありますので、ぜひ参加ください。
- 8) 12月22日(金)県コンソーシアム全体会議参加報告(峰事務局次長)
- 9) 中同協定時総会参加代議員数目標30名について(理事会メイン担当)
- 10) 3ヵ月会費滞納者について - なし
- 11) その他
 ・(共同求人準備委員会より)来期は各支部に共同求人委員長の選出をお願いします
 ・(峰事務局次長)兵庫全研で長崎全研のチラシを配布します。チラシの作成はコンベンション協会に依頼し、無料で作成いただきます。
 ・松尾代表理事が1月19日(金)に福岡同友会筑豊地区新年祝賀会で報告
 ・(松尾代表理事)2月14日の仲間づくりの日の成果は3月理事会に提出され、今年度期末の人数となります。今日から2月14日まできっちりカウントダウンして、目標達成するために何をどうするか考えてください。

※次回日程 - 2月理事会 2月1日(木)つくば倶楽部

会員動向

会 員 数 (1月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	135	115	100	90	75	145	55	35	750
期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現在	112	102	82	75	62	152	45	31	661

●企業住所等変更 **千北 豊明 会員** (佐世保支部)
 新住所: 〒857-0041 佐世保市木場田町5-11

村上 敦子 会員 (佐世保支部) **宮田 京子 会員** (北松浦支部)
 新会社名: (株)村上彫刻 新役職: 専務取締役 新会社名: 一般社団法人 西日本福祉会

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
李 宗 賢	(株)老李グループ・ジャパン	長崎出島	2016年1月入会

2月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 2月24日(土) 18:00～20:30
会 場 長崎新聞文化ホールアストピア
テ - マ (仮)「人が輝く社風づくり」
報 告 者 (株)オオクラ 代表取締役
辻村 栄蔵 会員

アイカ工業(株)建築内装製造メーカーの代理店として、長崎県、佐賀県一部を業務エリアに新しい居住空間のクリエイティブに貢献して43年。事業は順調に拡大するも課題の事業承継へと舵を切る中、同友会運動から見えてきた事業と経営者の関わり方についてご報告いただけます。(そこにパトンの渡し方のヒントが!!)

●長崎出島支部

日 時 2月22日(木) 18:00～21:30
会 場 サンプリエール
テ - マ 現在のお金の価値感!
報 告 者 長崎エイジェンシーオフィスコンサルタント 相談役
田中 健一 会員

お金の勉強会。

●大村支部

日 時 2月15日(木) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル にんじん棟
テ - マ 仮題「経営指針作りで学んだこと」
報 告 者 イチセライス(株) 代表取締役
市瀬 恵理 会員

短大卒業後にアパレル販売や輸入ディーラー勤務、エステティシャンなどOL時代を経て、家業の米卸に腰掛け気分で手伝いをする程度だったが、突然の社長就任。何の準備もない状況で社長になったものの、社長就任当初は東日本大震災の影響による米不足から米が売れに売れて良い時代を迎える。ところが今度はその反動で米余りから大暴落となり過剰な在庫を抱えたため、経営危機に…危機を経験して社長として自分に足りなかったもの、会社にはないものに気づき、6年前に一度は断った同友会に昨年入会。同友会の経営指針作りから学んだこと、気づきなどを報告していただきます。

●諫早支部

日 時 2月21日(水) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 「人や企業や地域の魅力を
発掘して生き返らせる O'biz とは!!」
報 告 者 大村市産業支援センター O-biz センター長
若杉 誠司 氏

大村市は中小企業振興条例を制定し、その目玉として産業支援センターを設立しました。昨年7月に大村市に開所したO'biz(大村市産業支援センター)は中小零細企業の販路拡大や新製品開発、ネーミング等の相談件数が300件を超え行列がでる相談所となりました。その初代センター長として就任された若杉さんに立ち上げまでの経緯、これまでの相談から成功した事例などを報告していただきます。

●島原支部

日 時 2月21日(水) 19:00～21:15
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ - マ 未定
報 告 者 (有)上田自動車 代表取締役
上田 五月男 会員

●佐世保支部

日 時 2月16日(金) 18:30～21:00
会 場 アルカス佐世保 3F 大会議室
テ - マ 新聞屋、復活からの挑戦
報 告 者 (株)PMC 代表取締役
佐藤 安司 会員

朝日新聞の販売店に入店してから今年で40年、この間に新聞販売店はとてつもない変化を遂げました。新聞奨学生で入店した頃は、強引な勧誘でお客様をお客と思っていない様な方法で営業をしていました。それでも新聞の部数は飛躍的に伸びていました。それが現在はどうでしょう、テレビやネットの普及により活字離れが進み、新聞の発行部数は年々減少しています。その結果、単体では販売店を維持できず他紙に預けている新聞社も出て来ている。そこで私自身、朝日新聞だけの為ではなく、日本の誇りである活字文化を維持する為、新聞の宅配制度は無くさせない想いを込めた報告をしていただきます。

●北松浦支部

日 時 2月21日(水) 18:30～20:30
会 場 サンパーク吉井(変更の可能性有)
内 容 未定

●五島支部

日 時 2月16日(金) 18:30～21:00
会 場 観光ビル はたなか
テ - マ 「福祉から農業へ
地域のために親父の遺志を継いで。」
報 告 者 (有)ファームランド五島 代表取締役
山下 勝志 会員

福祉の世界から実家の農業経営へ飛び込んだ山下さん。転職に至るバックグラウンドや福祉の世界の経験、また、地域活性化の為我々企業の使命とは。父親の遺志とは何なのか?五島支部山下勝志総務委員長の報告です。多数ご参加お待ちしております!

●青年経営者会

日 時 2月27日(火)
会 場 未定
内 容 未定

長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!
2019年2月開催まで

あと **13** ヶ月!!